（前ページからつづく）

のことをたいへん残念がり、「亡父が多年苦労して著した越後全図は絶版を命じられ、世の人々に利用されないのは歎かわしい。……亡父は、『越後志』編集の企てがあったが、完成しないで亡くなった。その志を継ぎ、功業を継いで完成させるのは子の道である」と記しています。

蒼軒の目標は、父の志を継いで「越後志」（越後の地理と歴史）を完成させることでした。「癸卯随筆」には、「神に祈って著述の速やかな成功を願っている。どうして無益に月日を送れよう」という記述があり、蒼軒の「越後志」編さんに向ける並々ならぬ情熱がうかがえます。

小泉蒼軒略年譜

西暦（和暦）	蒼軒に関すること	国内のできごと
一七九七（寛政九）	地理学者小泉其明の長男として新発田藩中之島組今町（現見附市）に生まれる	
一八一一（文化八）	この年から父其明の越後地図作成を手伝い越後各地を巡る	一八〇〇　伊能忠敬が蝦夷地測量
一八一七（文化一四）	父其明、越後全図を完成して出版しかし、数年後に幕府から絶版を命じられる。理由は不明	一八二五　外国船打ち払い令
一八三七（天保八）	新発田藩中之島組坂井新田の本役名主になる	一八三三　天保飢饉
一八四六（弘化三）	新発田諏訪神社の松にちなみ「蒼軒」の号を用いる。	一八四一　天保改革
一八四九（嘉永二）	五十公野組曽根新田の名主に転村	
一八五八（安政五）	小須戸組市之瀬新田の名主に転村	一八五八　安政の大獄
一八六八（明治元）	八月戦火切迫により家族と割野村へ避難。十一月新津町へ転居	一八六七　大政奉還
一八七〇（明治三）	庄屋へ本間復姓の口上書を上げる	一八六八　戊辰戦争
一八七三（明治六）	十月十九日市之瀬の家で死去（七十七歳）	一八七一　廃藩置県

藩から20両借りて地誌編さんに没頭

蒼軒は、天保三年（一八三二年）以降坂井新田、曽根新田、市之瀬新田と転任していますが、天保八年（一八三七年）から慶応四年（一八六八年）までのおよそ三十年間、地誌編さんに専念するため、任地を離れ新発田城下に居住しています。一村の名主が任地を離れ、しかも長年にわたり城下に居住することは、当時の藩の郷村支配の仕組みからして考えられないことです。

また、前述の曽根新田からの転村は、家計に煩わされず地誌編さんに没頭できるよう、蒼軒が安政三年（一八五六年）に転村を内々に藩に願い出たもので、二年後に、市之瀬新田への転村を命じられています。ちなみに、曽根新田は戸数二十七戸（石高四十四石）、市之瀬新田は同六十五戸（同百六十七石）の村でした。

このほか、天保十三年（一八四二年）に、蒼軒は地誌を著す費用として、藩に二十両の拝借を願い出て許されています。

新発田藩は地誌編さんに理解を示し、蒼軒に便宜を与えていたことがわかります。

多くの著述は残したが夢を果たせずに逝く

新発田の寓居で地誌編さんに没頭していた蒼軒でしたが、越後志完成への道のりは遠かったようです。父の志を継ぎ、生涯をかけて取り組んだ「越後志」は、ついに完成することなく、明治六年（一八七三年）蒼軒は市之瀬の自宅で亡くなりました。

蒼軒は「越後志」完成の念願は果たせませんでしたが、「越後志」（村落部）「越後志料」「越後志草稿」「越後拾地誌」など多くの地誌類を残しています。

蒼軒日録は2／28発刊
頒布開始は3月から

「小泉蒼軒日録」は二月二十八日（月）に発刊されます。

市民の皆さんへの頒布は、三月からを予定しています。

価格は上下二巻（総ページ数約一七〇〇ページ）で、一万千円です。頒布開始日、頒布場所などくわしいことは、次号の広報でお知らせします。

□問い合わせ　生涯学習課文化行政係（☎22－9667）へ。

お買物、ご用命は市内で

幹事さん!!
只今、新事会予約受承り中
（2次会無料）
急募　男性社員、委細面談
とにかく電話だけでも!!
本町2　☎22-2225　横浜亭

2/14
セント
バレンタイン・デー
手づくりチョコレート材料入荷
素肌リフレッシュ・スタートセール
初めて化粧する方、素肌美人になりたい方、
1ヶ月分基礎化粧品を無料進呈します。
サークル
デリカ家　長崎屋店(24)7936・荻川店(25)2990

地方の魅力

暮らしやすさは地方が一番

仕事中心の生活から、個人の生き方や、余暇を重視する生活へ……そんな考え方が広まりつつある今、生活の場を地方へと目を向ける人が増えています。

ここ数年、U・J・Iターンの希望者が急増しているのもこの傾向の現れの一つ。東京にあるU・J・Iターン相談窓口への相談件数をみても、平成元年には約五千件であったのが、平成二年には二万件弱と、わずか一年で四倍近くにも跳ね上がっています。

ところが願望があっても、実際にU・J・Iターンに踏み切れるかというと、そうでもないようです。地方に関する情報不足、地方に抱いているマイナスイメージなどにより、地方での生活の不安がぬぐい切れずに、二の足を踏んでいるというのが実情です。そこで「地方の魅力再発見」ということで、一般に暮らしやすいといわれる地方生活を検証してみました。

●用語説明

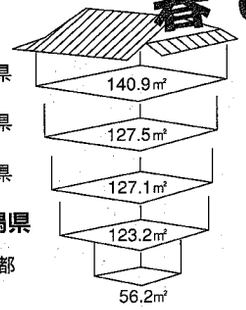
Uターン…地方出身者が大都市に就職した後、地方に戻ること。

Jターン…地方から大都市へ、その後、中都市へ移住すること。

Iターン…都会から地方へと移住すること。

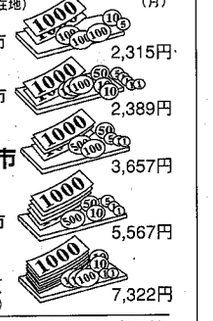
暮らし

1世帯当たりの延べ面積（持ち家）



1位　富山県
2位　秋田県
3位　福井県
5位　新潟県
45位　東京都

借家3.3㎡当たりの実質家賃（都道府県庁所在地）（月）

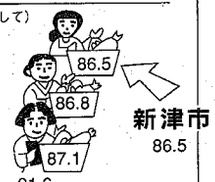


1位　宮崎市　2,315円
2位　大分市　2,389円
38位　新潟市　3,657円
46位　横浜市　5,567円
47位　東京（区部）　7,322円

通勤時間が1時間以上かかる世帯の比率

1位　青森県　2.5%
2位　愛媛県　2.5%
3位　宮崎県　2.5%
42位　東京都　21.5%

消費者物価地域差指数（東京を100として）



1位　宮崎県
2位　秋田県
3位　鳥取県
33位　新潟県　91.6
47位　東京都　100.0

「消費者物価地域差指数」は平成2年総務庁統計「通勤時間」は昭和63年住宅統計調査より抜粋、そのほかは平成2年調査。

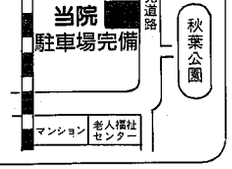
自信あればどこで住もうが同じだよ

ダニエル・カール

地方の魅力。食い物うまい。酒もうまい。そういうことも含めて生活環境がいい。そんなところでも若い人は都会へ出ていく。しょうがないよ。若者は刺激を求めるから。アメリカでもそうだもの。でもアメリカの場合、都会へ出て五年、十年するとだいたい戻ってくる。そりゃそうだ。都会は刺激が多すぎて疲れちゃうよ。日本人はなぜ戻ってこないのだろう。職業の問題が大きい？日本人のスティタス（社会的地位）は会社なんだ。職業を尋ねると日本人は、職種で答えないで会社の名前で答える。自分に自信がないからだと思う。自分に自信があれば職業がどうであれ、どこに住んでいようが変わらないはず。それなら、生活環境のいいところを選びたいよね。僕は十三回ぐらい引っ越している。地方へも都会へもいろんなところでいろんな経験をした。アメリカでは、どれだけのことを経験したかで人間の評価が決まるんだ。都落ちっていったっけ。そんなことないよ。都会でこれだけのことを経験してきましたって、堂々都落ちしなくちゃ。

お買物、ご用命は市内で

動物も家族の一員です。

診療時間
平日
AM 9:00～12:00　外来受付
PM 1:00～3:00　手術時間
PM 3:00～6:30　外来受付
土曜日
AM 9:00～12:00　外来受付
PM 1:30～3:00　外来受付
日曜・祭日（予約）
AM 9:30～11:30　外来受付
案内
●犬・猫・小鳥・小動物診療
●内分泌科
●皮膚科
●犬　人工授精科
●動物コンサルタント
●処方食・フード
●グルーミング
●ホ　テ　ル


小島動物病院　秋葉2丁目（秋葉公園入口）
Phone24－2223